

国語科学習指導略案（第1学年A組 男子15名，女子19名）

平成30年3月20日（火）5限
授業者：宮下敦郎

- 1 単元：自分たちで見つける「話すコツ・聞くコツ」
- 2 本時のねらい：『ペアでの会話の振り返り活動を通して、話の大事だと思う箇所が話し手と聞き手によって違うことや、同じ出来事についても受け手によって取り方や考え方が違うことに気づき、話すことや聞くことについての知識・技能を広げることができる。』（話すこと・聞くこと）
- 3 準備物：ワークシート・付箋
- 4 本時の学習過程（第3時／全4時間）

生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	・留意点 ○評価【観点】（方法） ※手立て
・本時の活動の説明	・前時からのつながりをふまえて、本時の活動を説明する。
めあて：日常生活の会話から、「相手の言いたいこと」に対する「話すこと・聞くこと」のコツを見つけ出そう。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題1 ・よくない例を提示し、問題点を考える。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活では、話し手がどのように出来事を捉え、何を伝えようとしているかを、聞き手が判断しなくてはならず、話し手の情報が不十分な場合には、質問することも必要になってくることをおさえる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 予想される生徒の反応 ・聞き手は相手の言いたいことではなく、自分の興味のあることに話をずらしている。 ・話を最後まで聞いていない。 ・話し手がよけいな場所の情報を出すから聞く側の気が散る。 </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題2 自分が「休みの日にどんなことをしたか」話をする </div> <ul style="list-style-type: none"> ・問題点を踏まえて、話せるように準備をする。 ・スピーチの簡単なメモを作成する。 【テーマ】【言いたいこと】【話す内容のキーワード】の3点を決める。 ・ペアになり、「自分が休みの日にどんなことをしたか」1分間スピーチを行う。 ・聞き手の生徒は、その話に関する質問や感想を言う。 ・話し手の生徒は、質問や感想に応じて補足の話をする。 ・聞き手は、話し手が何を一番言いたかったか当てる。 （外れたら正解を教える） ・立場を変えて同じことを行う。 ・別の人とペアになり、同じことを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 課題3 ・ペアでの活動を振り返り、「言いたいことを相手に伝えるためにはどうすればよいか」「相手の言いたいことを質問するためにはどうすればよいか」について意見を出し合う。 </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 山場：なるほど、言いたいことを相手に伝えるためにはこうすればよいか。相手の言いたいことを質問するためにはこうすればよいか。 </div>	

<振り返り・まとめ>

・本時で見つけた「話すコツ・聞くコツ」を付箋に書きだして次時に活用できるようにしておく。

・次時は、これまでの全てコツを付箋で出して分類する。その後、グループから出た意見を共有し、グループで出したコツを使って再度話し合い活動を行う。そして、コツが実際に話し合うのに有効なものになっているか確かめ、場合によってはコツを修正したり、追加したりして、全体で共有する。

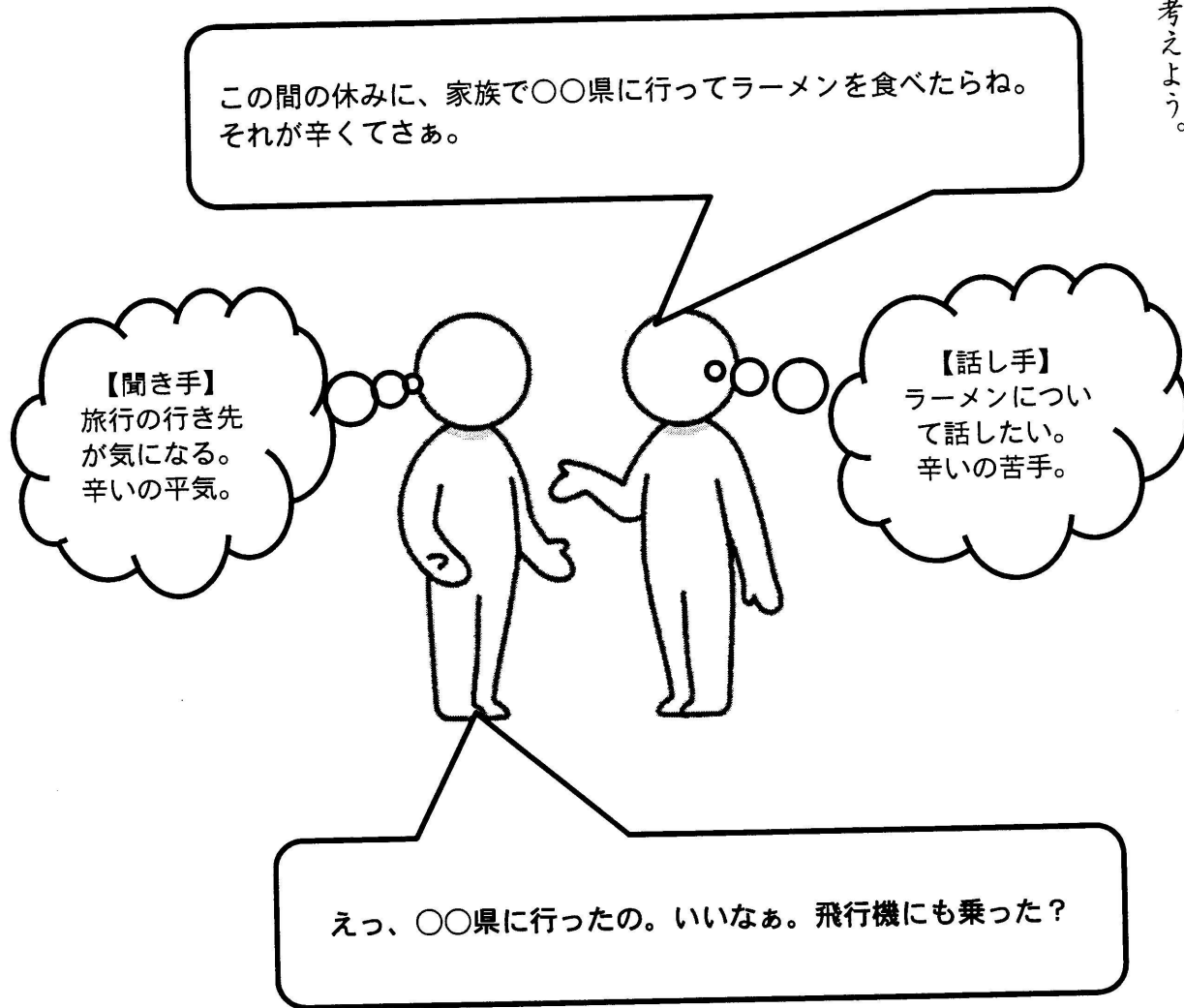
○<ねらいの評価>

話の大事だと思う箇所が話し手と聞き手によって違うことや、同じ出来事についても受け手によって取り方や考え方が違うことに気づき、話すことや聞くことについての知識・技能を広げることができる。

○<めあての評価>

ペアでの会話から、よい話し方や聞き方に気づき、具体化できる。

◎日常生活の会話から、「相手の言いたいこと」に対する「話すこと・聞くこと」のコツを見つけ出そう。
◎次の会話例（休みの日にどんなことをしたか）から、予想される問題点を考えよう。



○どんな問題が予想されるだろう。

- 問題点を頭において、今度は自分が「休みの日にどんなことをしたか」話そう。
- ①ペアになり、「自分が休みの日にどんなことをしたか」一分間スピーチを行う。
 - ②聞き手の生徒は、その話に関する質問や感想を言う。
 - ③話し手の生徒は、質問や感想に応じて補足の話をする。
 - ④聞き手は、話し手が何を一番言いたかったか当てる。(外れたら正解を教える)
 - ⑤立場を変えて同じことを言う。
 - ⑥別の人とペアになり、同じことを行う。

発表メモ

【テーマ】

【言いたいこと】

【話す内容のキーワード】

- 「言いたいことを相手に伝えるためにはどうするとよいか」「相手の言いたいことを質問するためにはどうするとよいか」意見を出し合おう。
- 【メモ】

○今日見つけた「話すコツ・聞くコツ」を書きだそう。

・「会話の態度」「正確な内容」「聞く・話す技術」「その他」

○問題点を頭において、今度は自分が「休みの日にどんなことをしたか」話そう。

- ①ペアになり、「自分が休みの日にどんなことをしたか」一分間スピーチを行う。
- ②聞き手の生徒は、その話に関する質問や感想を言う。
- ③話し手の生徒は、質問や感想に応じて補足の話をする。
- ④聞き手は、話し手が何を一番言いたかったか当てる。(外れたら正解を教える)
- ⑤立場を変えて同じことを言う。
- ⑥別の人とペアになり、同じことを行う。

発表メモ

【テーマ】

【言いたいこと】

【話す内容のキーワード】

○「言いたいことを相手に伝えるためにはどうするとよいか」「相手の言いたいことを質問するためにはどうするとよいか」意見を出し合おう。
【メモ】

○今日見つけた「話すコツ・聞くコツ」を書きだそう。

・「会話の態度」「正確な内容」「聞く・話す技術」「その他」